

(様式第1号) (第9条関係)

事業基本計画書

令和 6 年 7 月 8 日

長野県知事 様

住 所 栃木県佐野市高萩町1322番地9
氏 名 株式会社エコ革パワー
代表取締役 伊藤繁三

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第9条第1項（第21条第3項、第27条及び附則第6項において準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発電施設の設置の場所		佐久市猿久保430-1, 430-2, 430-5
事業区域の位置及び面積		別紙「位置図及び事業区域図」参照 1733.28㎡
太陽光発電電力施設の合計出力		49.5kW (太陽電池の合計出力 94.7kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (AG47786C20)
	設置工事着手予定日	令和 6 年 10 月 1 日
	設置工事完了予定日	令和 6 年 11 月 1 日
	運転開始予定日	令和 6 年 12 月 1 日
	施設撤去予定日	令和 26 年 11 月 30 日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別紙「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		事業地における架台杭引抜試験実施し、その結果をもとに架台メーカーにて強度計算を行っております。 架台について風雪に耐えられる基準値を満たしております。
景観の保全のための措置の検討に関する事項		別紙「景観の保全のための措置の検討状況書」参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※（環境配慮区域に太陽光発電施設に設置する場合に限る。）		非該当
維持管理計画に関する事項		別紙「維持管理計画」参照
関係市町村長及び関係住民の 範囲並びにその根拠	範 囲	佐久市長 及び 佐久市猿久保区
	根 拠	佐久市太陽光発電設備の設置等に関する指導要綱 第2条、第7条参照

事業基本計画説明会の開催の日時及び場所	日 時	令和6年8月3日（土） 午前10：00から 開催予定
	場 所	猿久保公会場
意見の提出先	【郵送提出先】 〒327-0821 栃木県佐野市高萩町1322番地9 株式会社エコ革 株式会社エコ革パワー 【電子メール】 kaihatsu.all@ecokaku.jp	
土地の権原の取得予定	平成28年9月1日 土地賃貸借契約済み	
地域社会に資する事項	管理の行き届いていない非耕作農地の有効活用と、土地の定期的な管理をしていく。	
備考	連絡先 （電話番号） 0283-85-9299 （FAX番号） 0283-85-9209 （電子メールアドレス） kaihatsu.all@ecokaku.jp	

注1 該当する□内に△印を記入すること

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第1位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄には、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

事業地：佐久市猿久保 430-1 他 2 筆

防災対策等設置施設	☒ 調整池 ☒ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☒ その他 (堰堤による排水流出防止)		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業 に限る ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	9 月 造成工事 10 月 太陽光設備工事 11 月 完工予定		
工事車両の運行計画	想定される台数 (延べ) 6 0 台 運行時間 4 8 0 時間 経路 県道 1 3 8 号線から佐久市道		
造成工事	盛土の有無	有 ・ ☒ 無	想定盛土量 m ³
	切土の有無	有 ・ ☒ 無	想定切土量 m ³
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		— m ³
排水処理設備の有無	☒ 有 ・ 無		
	排出経路	浸透トレンチ、調整池による場内浸透	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

事業地：佐久市猿久保430-1他

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないよう、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	事業地は、田園地域に該当しております。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	周囲に公共的な眺望点はありません。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	佐久市太陽光発電設備に関する指導要綱に伴い、緩衝帯を設ける計画となっております。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	事業地は、現況農地であり、元の地形を活かした造成計画になっております。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	佐久市太陽光発電設備に関する指導要綱に伴い、高さ1.8mフェンスから突出しない計画となっております。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	架台は地上高2.0m以下のものを採用しております。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	基本、南向き、角度20度で設置予定です。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	一般的な住宅屋根角度は15度～25度と言われ、設置計画においてはその範囲内の20度で設置予定です。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	発電設備は、5YR4/2以下のフェンスで囲むことで見えにくい設計となっております。

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		CIS太陽光モジュールを採用し、防眩性に優れたパネルを採用しています。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		色は黒色で防眩性に優れたパネルを採用しています。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	黒色
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	黒色
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		フェンス（5YR4/2）以下のものを採用しています。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		中部電力電柱から引込み柱までの距離を必要最低限に計画しています。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		架台は艶のないアルミ製。 パワコンは5Y/1/7の保護ケースのものを採用しています。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		種子散布と植栽を計画しています。（苗木の大きさは納品業者の都合による）
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		樹種は、寒冷地に強いレッドロビンを採用し、植栽実施予定となっています。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		事業規模が小さい為、遮蔽措置は考えておりません。しかし、事業地北側は植栽予定で、樹木が成長すれば遮蔽効果が得られます。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		年2回の保守点検実施の計画となっております。（草刈りは別途）
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		佐久市景観条例に定める届出書提出予定となっております。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日 令和 6 年 7 月 3 日

太陽光発電施設の設置場所	佐久市猿久保 430-1、430-2、430-5	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	〒327-0821 栃木県佐野市高萩町 1322 番地 9 株式会社エコ革パワー 代表取締役 伊藤繁三 電話番号 0283-85-9299 担当者携帯 070-2355-2797（近藤）	
保守点検責任者	氏名及び住所	株式会社エコ革 本田紀幸 栃木県佐野市高萩町 1322 番地 9
	電話番号	070-8695-0150
合計出力	49.5 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 26 年 11 月 30 日	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	・太陽光発電施設の処分は廃棄物処理業者に依頼する。 ・撤去後は更地ないし土地所有者と別途協議の上、決定する。 ・FIT 法の廃棄等費用積立制度に従い廃棄費用を確保する。	
維持管理計画及び状況の公表方法	弊社ホームページ内の専用サイトによる公表 (発電所施設に QR コード設置予定)	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

○十分な強度計算の基設計をしております。

災害が発生した際は現地状況を確認し安全に十分に考慮し、原状回復に努めます。

○地域の災害復旧に協力します。

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

○弊社の発電施設が原因となる周辺環境の保全に支障が生じた場合、原状回復をするとともに、対策を講じます。弊社発電施設を起因とする損害等については保険による損害賠償をさせて頂きます。

○状況を把握し関係各機関（消防、市役所、経産省）に連絡をします。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年2回	
			端子箱に破損、変形がないか		年2回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年2回	
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年2回	
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年2回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年2回	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年2回	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年2回	
			接続部に緩み、破損がない。		年2回	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年2回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年2回	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		年2回	
			ボルト、ナットの緩みがない。		年2回	
			固定強度に不足の懸念がない。		年2回	
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年2回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年2回	
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年2回	
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年2回	
漏電遮断器	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年2回	
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。		年2回	
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	

			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年2回	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年2回	
	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年2回	

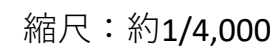
附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
排水設備	☒	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年2回 除草時	
			亀裂、ずれがない。		年2回 除草時	

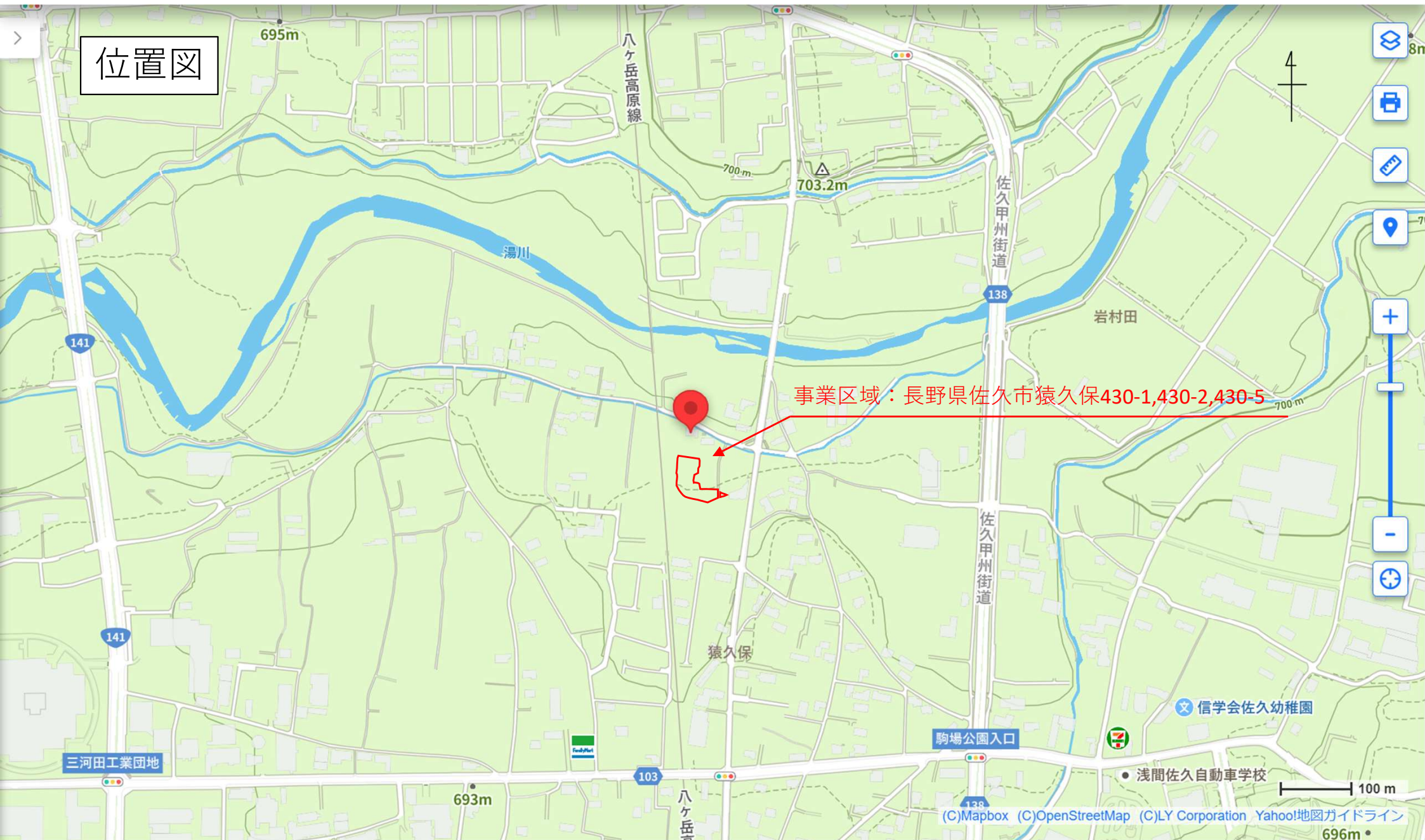
調整池			破損がない。		年2回 及 び 除 草 時	
			排水設備外への漏水がない。		年2回 及 び 除 草 時	
	☒	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。		年2回 及 び 除 草 時	
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。		年2回 及 び 除 草 時	
			草木の繁茂がない。		年3回 以上	
	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☒	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。		年2回 + 除 草 時	
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。		年2回 + 除 草 時	
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。		年2回 + 除 草 時	

			油等の浮遊がない。		年2回 + 除草 時	
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護 柵、 塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		年2回	
	☒	標識（事業計画、 注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損 がない。		年2回 + 除草 時	
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		年2回 + 除草 時	
進 入 路 ・ 管 理 道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年2回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年2回	
			雨水等による洗掘がない。		年2回	
			草木の繁茂がない。		年3回 以上	
設 置 地 盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設 置 地 盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年2回 + 除草 時	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年2回 + 除草 時	
			雨水等による洗掘がない。		年2回 + 除草 時	
			草木の繁茂がない。		年3回 以上	

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。



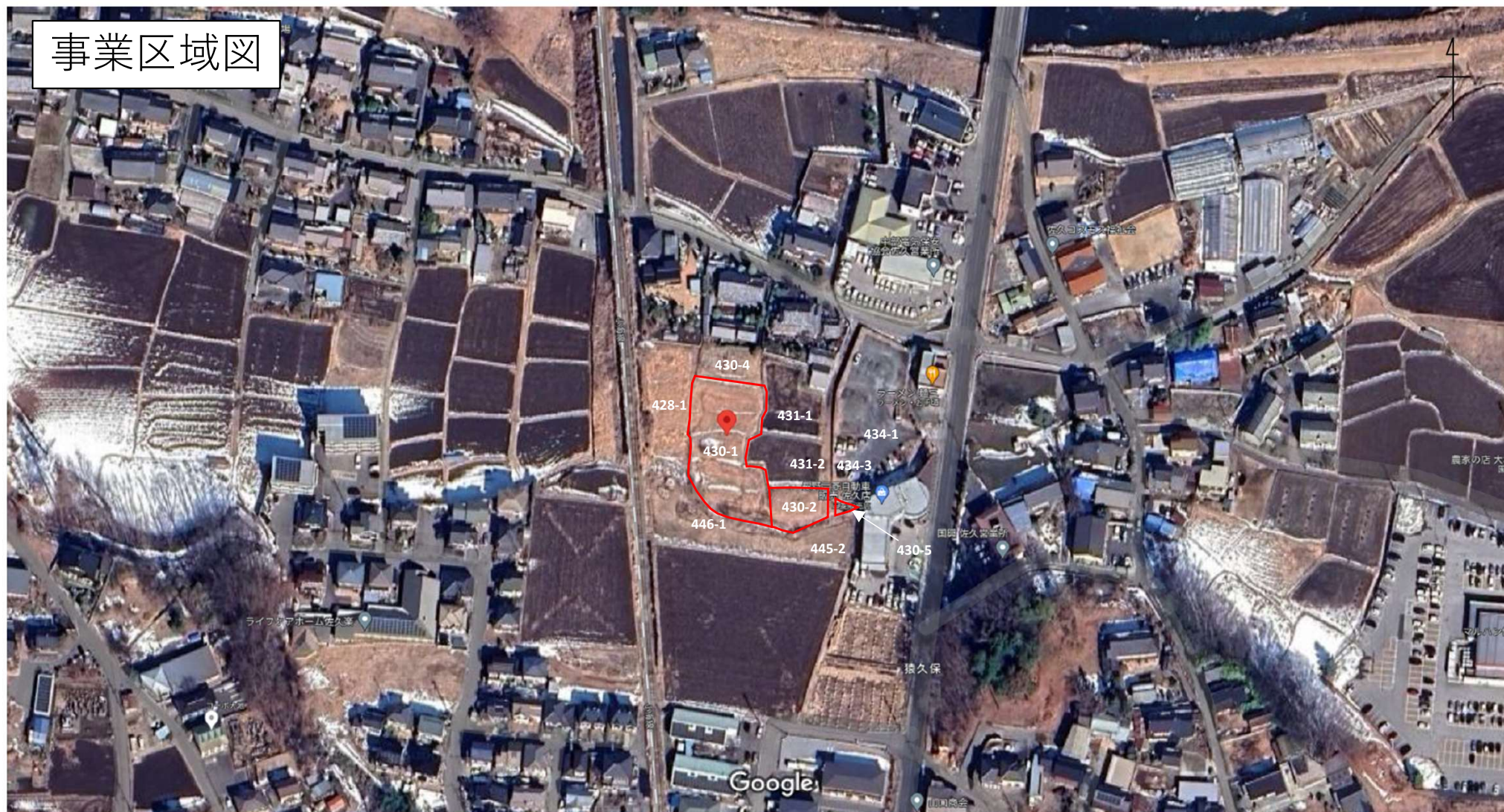
位置図



縮尺：約1/4,000

Google 36°15'37.9"N 138°28'35.8"E

事業区域：長野県佐久市猿久保430-1,430-2,430-5



画像 ©2024 Airbus, Maxar Technologies、地図データ ©2024 20 m

縮尺：約1/1,000

『進入経路図』 工事車両運行計画



基本形路図

- ①佐久IC
- ②県道9号を南進
- ③県道138号を南進
- ④湯川橋通過
- ⑤「電気保安協会佐久営業所」付近交差点を右折
- ⑥佐久市道03-003号進入
- ⑦「佐久市猿久保432」付近市道に南進。
- ⑧事業地

工事車両及び資材は、事業地へ。
事業地接道は非舗装路の為、鉄板ないしプラスチック敷板で保護予定

『進入経路図』工事車両運行計画



基本形路図

- ①佐久IC
- ②県道9号を南進
- ③県道138号を南進
- ④湯川橋通過
- ⑤「電気保安協会佐久営業所」付近交差点を右折
- ⑥佐久市道03-003号進入
- ⑦「佐久市猿久保432」付近市道に南進。
- ⑧事業地

工事車両及び資材は、事業地へ。
事業地接道は非舗装路の為、鉄板ないしプラスチック敷板で保護予定

既存水路 (U240)

既存水路 (U240)

土堰堤外側: 種子吹付

通路: W=0.7m

PCS: 壁面架台取付

浸透施設+貯留池

沈砂池

フェンス



design office UMEZAWA CO. LTD.

株式会社 梅沢設計

〒182-0021
東京都調布市調布ヶ丘3-39-11
TEL 042-459-2244
FAX 042-459-2245

一級建築士事務所登録都知事第38437号
一級建築士大臣登録第178728号 梅澤 武男

承認	検図	設計	製図
設計年月日 令和6年 1月 24日			

工事名称

佐久市猿久保

図面名称

パネル配置図

縮尺

A4 : 1/600

図面番号

00 — 07

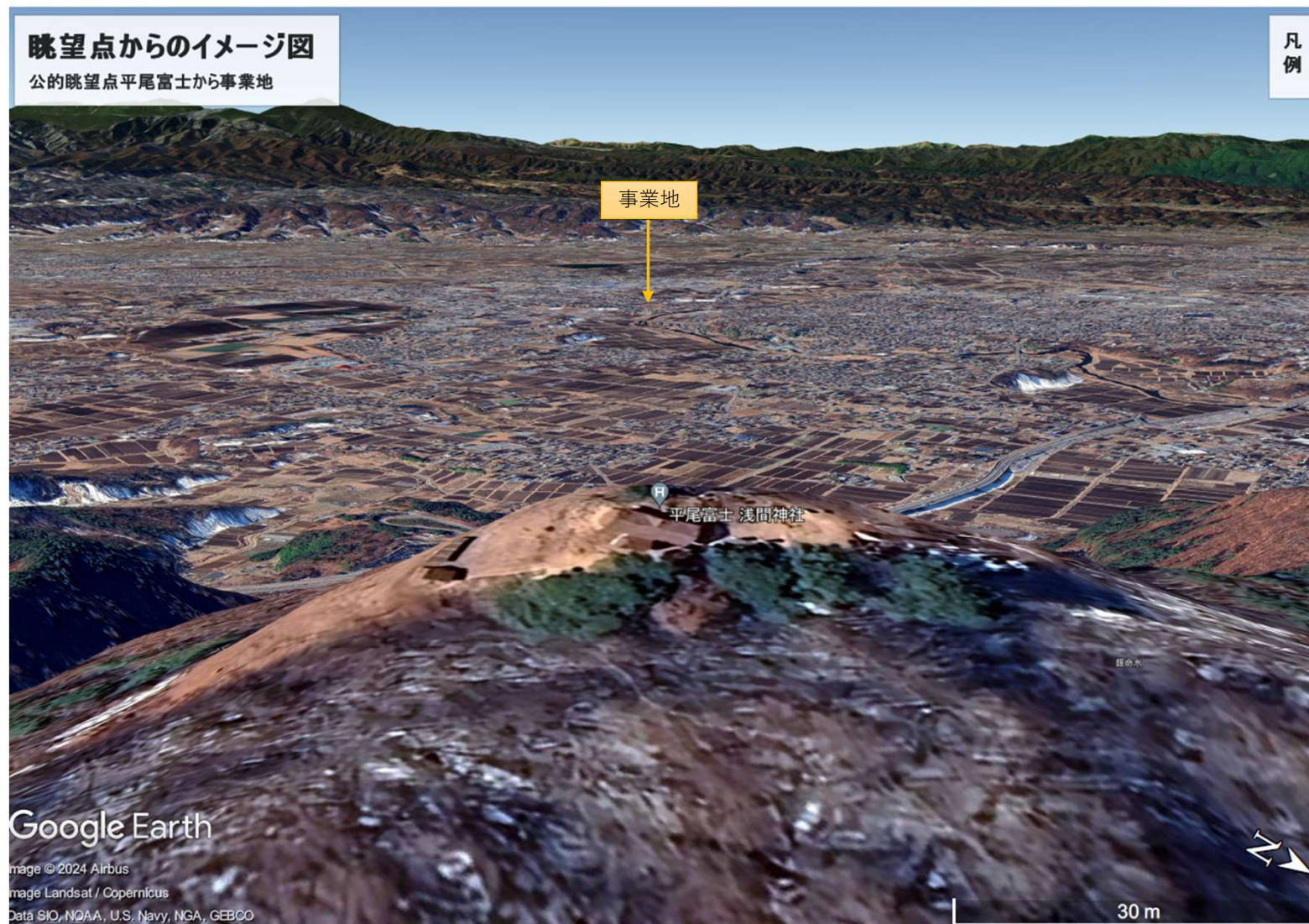
航空写真地図（眺望点および事業地位置図）

公的眺望点情報：佐久地域『市民の森』（平尾富士展望台付近）

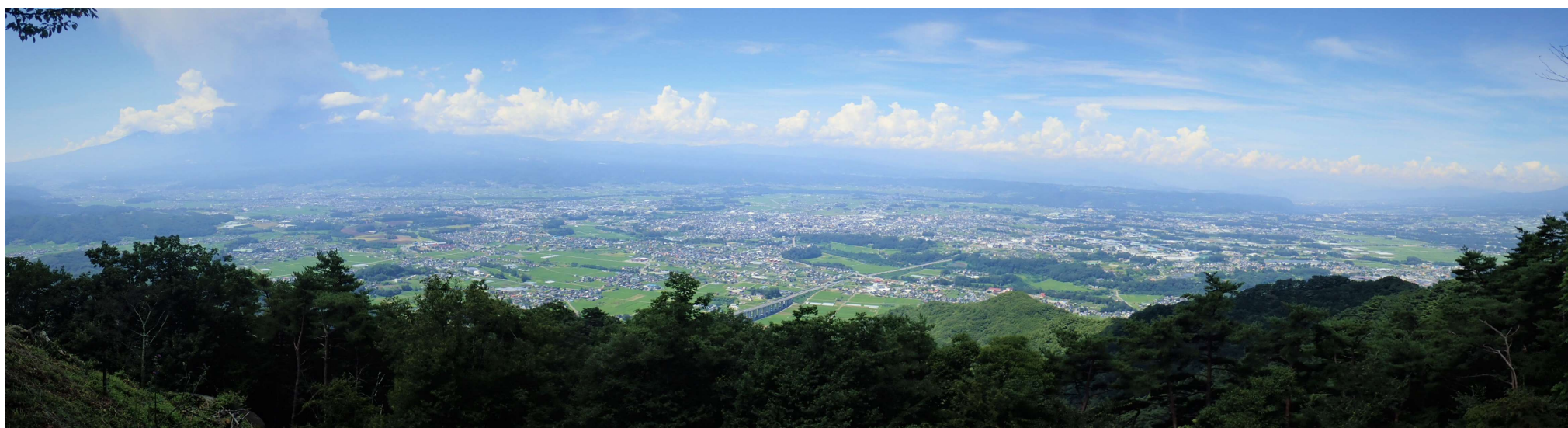
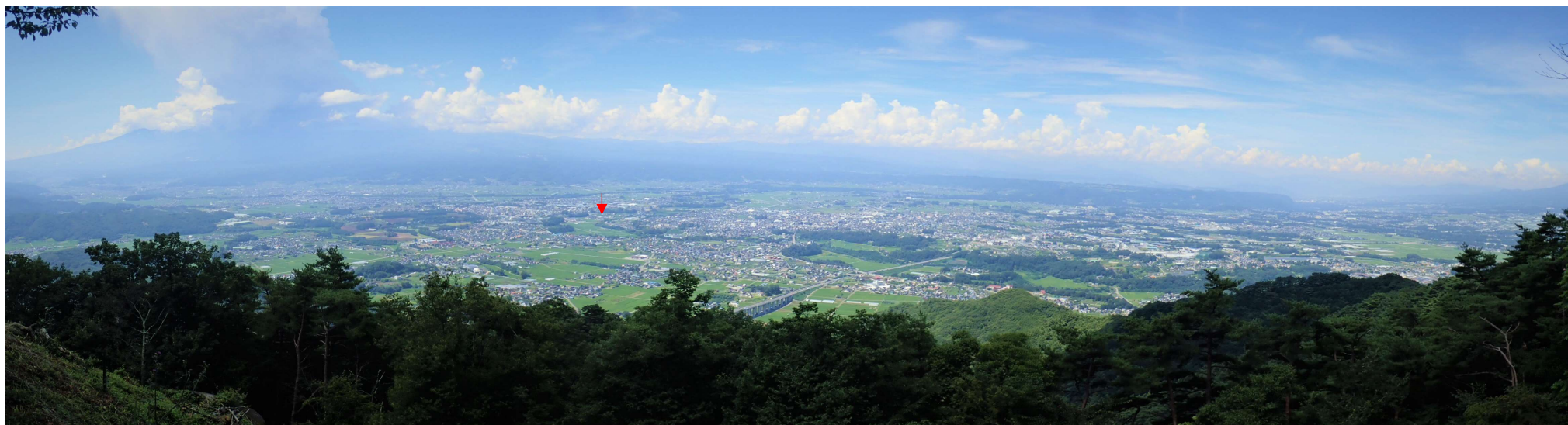


眺望点から事業地方向を眺望した際のイメージ図

公的眺望点情報：佐久地域『市民の森』（平尾富士展望台付近）
現実的には、事業地の位置など特定困難。



写真（眺望区域：「市民の森」 眺望位置：平尾山山頂 事業地：↓の先端部（事業規模が小さい為、事業地特定困難）



拡大写真（眺望区域：「市民の森」 眺望位置：平尾山山頂 事業地：↓の先端部（事業規模が小さい為、事業地特定困難）



佐久市猿久保430-1他 太陽光発電所 完成予想図（鳥観図 事業区域あり）



佐久市猿久保430-1他 太陽光発電所 完成予想図（鳥観図 事業区域なし）



佐久市猿久保430-1他 太陽光発電所 完成予想図（鳥観図 真上）

